

会 議 録

会 議 の 名 称	新座市立学校適正配置等審議会（令和８年度第１回）
開 催 日 時	令和８年７月３０日（木） 午後２時から午後３時まで
開 催 場 所	新座市役所本庁舎５階 第二委員会室
出 席 委 員	林 宣之、星野 泉、石渡 知樹、小関 直、 立山 健治、藤巻 和司、高石 光治、清田 明、 小甲 いずみ、市来 陽子 （出席者１０名、欠席者なし）
市 職 員	金子教育長 齋藤教育総務部長 井口教育総務部副部長 教育総務部教育総務課 森山副部長兼課長 教育総務部教育総務課施設整備室 高橋室長 丹代学校教育部長 学校教育部教育支援課 山崎副部長兼課長 学校教育部学務課 大内課長 〔事務局：小・中学校適正配置等推進室〕 五十嵐室長 狩野専門員 齋藤専門員 真田専門員 増田主査
会 議 内 容	１ 開会 ２ 教育長挨拶 ３ 委員委嘱 ４ 委員紹介及び市職員紹介 ５ 議事 (１) 会長及び副会長の選出について (２) 新座市立小・中学校の適正配置等の諮問について (３) 新座市立小・中学校適正配置等基本方針策定の流れについて (４) 新座市立小・中学校の現況（概要）について (５) 保護者等へのアンケート調査の実施について ６ その他 ７ 閉会
会 議 資 料	１ 会議次第 ２ 資料１ 審議会委員名簿、新座市立学校適正配置等審議会条例 ３ 資料２ 新座市立小・中学校適正配置等基本方針策定のながれ ４ 資料３ 新座市立小・中学校の現況（概要） ５ 資料４ アンケート調査概要 ６ 参考資料(１)多面的な実態把握に基づく課題の整理について 参考資料(２)会議の公開要領 参考資料(３)市立学校の適正規模・適正配置に関する検討報告（令和７年度）

公開・非公開の別	① 公 開 (傍聴者 9人)	2 一部公開	3 非公開
そ の 他 の 必 要 事 項			
審 議 の 内 容 (審議経過、結論等) (→は質疑に対する事務局等の応答)			
1 開会			
2 教育長挨拶 教育長から、本審議会の設置趣旨について説明があり、児童生徒数の変化、学校施設の老朽化、教育上の多様な課題等を中長期的に見通し、子どもたちにとって望ましい教育環境の実現に向けて幅広く審議してほしい旨の挨拶を行う。			
3 委員委嘱 各委員へ委嘱状の交付			
4 委員紹介及び市職員紹介 委員及び市職員等の紹介			
5 議事			
(1) 会長及び副会長の選出について ア 事務局から、新座市立学校適正配置等審議会条例に基づき、会長及び副会長を委員の互選により選出する旨の説明 イ 委員の互選により、林委員、星野委員が、それぞれ会長、副会長に選出された。 ウ 選出された林会長、星野副会長から、就任の挨拶			
(2) 新座市立小・中学校の適正配置等の諮問について 教育長による諮問書の読み上げの後、会長に諮問書が交付された。			
(3) 新座市立小・中学校適正配置等基本方針策定の流れについて ア 事務局から、資料2に沿って、基本方針策定の目的及び検討の流れについての説明 イ 委員の質疑及び意見の概要 なし ウ 結論 資料2に示された流れを基本として、現状把握・実態把握、アンケート結果の分析、論点整理等を進めていくこととした。			
(4) 新座市立小・中学校の現況(概要)について ア 事務局から、資料3に沿って、市立小・中学校の現況についての説明 イ 委員の質疑及び意見の概要 (→は質疑に対する事務局等の応答)			

- ・市が策定している学校施設長寿命化計画について分かりやすく説明してほしい。
- 令和元年度に劣化状況調査を実施、令和2年度に計画を策定し、令和5年度に計画を改訂した。工事については、第二中学校について、令和5～7年度の3年間で実施した。令和7～8年度に第四小と池田小の工事の実施、令和8～9年度に東北小の工事を実施、令和 10～11 年度に野火止小の工事を実施する予定となっている。
- ・長寿命化改修を行った場合、使用できる期間はどれくらい延びるのか。
- 施設によって築年数が異なるため、明確な期間は申し上げられないが、工事後30年程度は使用することとしている。

(5) 保護者等へのアンケート調査の実施について

ア 事務局から、資料4に沿って、アンケート調査の目的、対象、実施方法、調査項目及び実施時期についての説明

イ 委員の質疑及び意見の概要

- ・公立学校は地域コミュニティの核であり、防災の面でも重要な場所であることから、町内会(会長)へのアンケートの実施も重要だと思うが、如何か。
- アンケートの項目には、「地域の中で担う役割の中で重要と思われるもの」というような設問もあり、保護者から市民までアンケートの対象となっている。町内会長を対象とした形でのアンケートは準備していないが、自由記述欄等もあり、その中でご意見を伺えると考えている。インターネットで回答できるので、広く周知して進めていく。
- ・児童生徒に行うアンケートは、最終的に、基礎資料としてどのように処理されるのか。
- 年齢別、学年別、カテゴリー別にまとめ、クロス集計なども行い、どのような傾向があるのか分析していく。
- ・アンケートの設問の文言に難しい表現もある。また、小学生にとっては、こういったテーマについて問題意識がない中でどう考えさせるのかに懸念がある。アンケートを学校の中でやるのかなど、実施方法について教えてほしい。
- 児童生徒のアンケートについては、2学期当初に各学級で児童生徒用タブレットを利用して実施することを想定している。その際、先生方には説明いただくことになるが、説明資料等については市側で準備し、丁寧に進めたい。

ウ 結論

アンケート調査の内容については、本日いただいた意見を事務局において整理し会長と調整の上実施することとした。

6 その他

(1) 第2回審議会の概要と予定について

第2回以降の審議会では現状把握・実態把握及びアンケート結果等を扱う予定であり、開催時期は11月頃を想定している旨の説明。詳細は改めて連絡することとした。

(2) オンラインによる会議参加について

事務局から、オンラインによる会議参加の取扱いについての説明

(3) アンケート調査について

事務局から、アンケート案に対する追加意見の提出方法等について説明があった。

(4) 先進自治体への視察について

事務局から、今後の検討の参考とするため、先進自治体への視察を検討している旨の説明

7 閉会